

民間部会・春闘学習会を開催



2月11日、大阪労連民間部会はハイブリッドで春闘学習会を開催。自治体問題研究所の猿橋事務局長を講師に「維新の大阪の経済政策のゴマカシと誤り、春闘と労働組合の役割と期待」について話を聞き、その後各単産の春闘方針を交流しました。

ブラックバイトには気をつけよう!



2月18日、門真労連は、門真なみはや高校前で最低賃金周知宣伝を7人で取り組みました。ピラには「まちがい探しクイズ」を盛り込んで、楽しい内容にしました。「ブラックバイトには気をつけよう。困ったことや悩んでいることはあれば、まずは電話を」と呼びかけました。

北区・第8回フードバンクを開催



北区労連が参加する北区フードバンク実行委員会は2月20日に第8回フードバンクを開催。予定を超える人が来場しました。参加者の特徴は、現役世代や一人親家庭が多く、コロナ禍で生活困窮者が継続的に増えています。政府や自治体の支援が不十分で、「カジノより支援が先やる」の声も寄せられました。

泉州地域医療を守る会 対府懇談を開催



2月28日、泉州地域医療を守る会は対府懇談を開催。コロナの診断や検査を行う医療機関に対するマスクや防護服を配布する財政は、国からの交付金のみ。府の財政は一切使っていないことが明らかとなり、今こそ税金を使って府の責任を果たすよう強く求めました。

ろーれんフラッシュ



第6波になり感染者が増加するなかで病院は受け入れる病床数をさらに増やしても、常に満床に近い状態が続いています。そのため、病状が安

ワリーに余裕がないため病棟だけでは対応できず、他部署からの支援を受けながら毎日が綱渡りのような感覚で仕事をしています。コロナでの入院患者さんの多くは高齢者で、隔離生活はストレスがかかり、環境の変化で認知症の症状の悪化や運動機能

患者さんに対応した場合、コロナ対応特別手当も辛い瞬間でした。労使交渉では、コロナ患者さんに対応した場

病棟での仕事はこれまで当たり前に行ってきた看護が、コロナ専用

緊張感の毎日ですが、患者さんからの「ご苦労様」の一言で元気をもらっています

緊張感の毎日ですが、患者さんからの「ご苦労様」の一言で元気をもらっています

感染の拡大を受けて、定した患者さんから隔離解除を待たずに自宅療養やホテル療養へ切り替えて早期退院とし、病床を確保しています。看護体制も厳しい状況が続く、病床数の増加に伴い夜勤者の人数を増やしました。そうすると今度は日勤のスタッフの数が減ります。元々マンパ

が低下することもありますが、本来であればケアに時間をかけて丁寧に関わっていくことが看護の役割ですが、感染対策や看護体制が厳しい中では思うようにできないことが多く、もどかしさを感じています。また、これまでにコロナ感染症の患者さんの看取りも経験しま

なかつた」という研究で受賞するなど、最新の経済学では「最賃が上がれば価格に転嫁し、逆に雇用が増えた」と結論が出た」と強調されました。会場発言では、医労連の端さんは、「昨年4月の最賃生活体験でスーパーの安い所・高い所をリサーチし、安いスーパーで買い物をせざるを得なかった」と報告。生協労連の山本さんは「最賃署名で目標を掲げ達成した分会にはプレゼントを進呈。今の最賃金では暮らしていけない、最低賃金引き上げに向けて頑張ります」と呼びかけました。

大阪労連は2月4日、「最低賃金署名スタート学習会」をハイブリッド形式で開催し、会場参加24人、オンライン19回線の参加がありました。学習会では、大阪経済大学経済学部准教授の、伊藤大一人さんをお招きし、「最低賃金制度の役割と大阪府の生計費」と題してお話しいただきました。

Advertisement for the 'Minimum Wage Signature Start Learning Meeting' featuring a speaker and a large graphic of '1500円' (1500 yen) with the text '全国一律最低賃金制度' (National Uniform Minimum Wage System).

伊藤さんの講演では、「大学・大学院卒業後経済学博士号を取得する前は、就職できずフリーターとなり月16万円で生活していたこと」など、その後の経験を交えて分かりやすく話されました。また、「これまでの学説は、『最賃が上がれば雇用は減少する』と誰もが信じていた。しかし、昨年のノーベル経済学賞では、『最低賃金の上昇により、雇用の減少は生じ

行動提起では、三枝幹事が大阪版「全国一律最低賃金制度の創設と、時間額1500円を求めらる」要請署名「中小企業支援を求める」団体署名を「各組織が目標を持って取り組んでいこう」と訴えました。

大阪労連は、2月17日に関西経済同友会、2月25日に関西経済連合会とそれぞれオンラインで懇談を行いました。賃金については、「賃上げは必要だがすべての企業の賃上げは厳しい。業績回復した企業には積極的に賃上げを呼びかける」「最賃引き上げは賛成」「同一労働同一賃金の対応は、裁判判例などを情報提供し、環境整備をすすめていく」「定年延長での賃金体系はそれぞれの組織が議論する」など現状が語られました。

大阪労連では、引き続き経済団体との懇談を進め、労働者の賃上げと雇用の安定で地域活性化につなげていきます。

Advertisement for 'なまづくりスタート宣言' (Namacuzuri Start Declaration) with a large graphic of '組織拡大に大きくふみ出そう!' (Let's take big steps in organizational expansion!) and contact information for Osaka Labor Union.



オンラインで関経連との懇談

Advertisement for the '国労大阪会館' (National Labor Osaka Hall) providing information on training and learning opportunities, including contact details and location in Osaka.